科目名	建築設計製	z iv													
科目名(英)	ARCHITECTURAL	DESIGN DRAWING 1	īV												
単位数	6単位	時間数	90時間	担当者	古賀 俊光										
実施年度	2023年度	実施時期	後期	担当者実務経験	設計事務所にて建築デザイン に従事										
対象学科•学年															
授業概要	の習得とともに建築実 就職の際に役立つプロ	務にも役立つ知識と技 レゼンテーション能力と	と 図の基本を活かし、建築 技術、並びにグループでの ポートフォリオ(作品集)の カを建築設計を通じて養	協同作業の術を身に)作成技術を習得する											
授業形態	講義: 演習	: O 実習:	実技:	※ 主たる刑	彡態:○ その他:△										
	言語 知的 運動 態度 情報 技能 技能 意欲 その他		目	標											
				建築設計を行うことが出来る。											
学習目標 (到達目標)		地域環境、生活者の		が出来る。											
(判注口惊/		○ 設計した内容についてプレゼンテーションが出来る。 ○ 役割分担を明確にし、計画的かつ能率的なグループワークによる協働を遂行													
テキスト・教材 参考図書	彰国社 定番建築製図入門 参考図書:各種建築雑誌・二級建築士試験設計製図試験最端エスキースコード・建築系学生のための卒業設計の進め方 他														
	回数	授業項目•内容	字 字	授業	外学修指示										
	1 ガイダンス・課題詞														
	2 現地調査・エスキ	ース		遅れてい	る分は時間外に実施										
	3 現地調査・エスキ	ース		遅れてい	る分は時間外に実施										
	4 現地調査・エスキ	ース		遅れてい	る分は時間外に実施										
	5 現地調査・エスキ	ース		遅れてい	る分は時間外に実施										
	6 現地調査・エスキ	ース		遅れている分は時間外に実施											
	7 現地調査・エスキ	ース		遅れてい	る分は時間外に実施										
	8 現地調査・エスキ	ース		遅れてい	る分は時間外に実施										
	9 エスキース			遅れてい	る分は時間外に実施										
	10 エスキース			遅れてい	る分は時間外に実施										
	11 エスキース			遅れてい	る分は時間外に実施										
	12 エスキース			遅れてい	る分は時間外に実施										
	13 エスキース			遅れてい	る分は時間外に実施										
	14 エスキース			遅れてい	る分は時間外に実施										
	15 エスキース			遅れてい	る分は時間外に実施										
	16 エスキース			遅れてい											
	17 エスキース			遅れてい											
	18 エスキース			遅れてい	る分は時間外に実施										
	19 中間プレゼン用PI	P作成		遅れてい											
	20 中間プレゼン用PI	 P作成		遅れてい	る分は時間外に実施										
極業計画	21 中間プレゼン用PI	 P作成		遅れてい	る分は時間外に実施										
授業計画	22 中間プレゼン			遅れてい	る分は時間外に実施										

	23	中間プレゼン				遅れ	ている分は時間	外に実施			
	24	中間プレゼン				遅れ	ている分は時間	外に実施			
	25	図面制作				遅れ	ている分は時間	別外に実施			
	26	図面制作				遅れ	ている分は時間	外に実施			
	27	図面制作				遅れ	ている分は時間	別外に実施			
	28	図面制作				遅れ	ている分は時間	別外に実施			
	29	図面制作				遅れ	ている分は時間	別外に実施			
	30	図面制作				遅れている分は時間外に実施					
	31	図面制作				遅れ	ている分は時間	引外に実施			
	32	プレゼンボード・プレゼン	PP作成①			遅れ	ている分は時間	外に実施			
	33	プレゼンボード・プレゼン	PP作成①		遅れ	ている分は時間	別外に実施				
	34	プレゼンボード・プレゼン	PP作成①		遅れ	ている分は時間	別に実施				
	35	プレゼンボード・プレゼン	PP作成①			遅れ	ている分は時間	別外に実施			
	36	設計図面提出(提出物B)、プレゼンオ	ドード・プレゼ	ンPP作成②	遅れている分は時間外に実施					
	37	プレゼンボード作成・プレ	・ゼンPP③、i	総仕上げ		遅れている分は時間外に実施					
	38	プレゼンボード作成・プレ	νゼンPP③、i	総仕上げ		遅れている分は時間外に実施					
	39	プレゼンボード作成・プレ	・ゼンPP③、i	総仕上げ		遅れている分は時間外に実施					
	40	プレゼンテーション・講評	会			遅れている分は時間外に実施					
	41	プレゼンテーション・講評	会			遅れ	ている分は時間	引外に実施			
	42	プレゼンテーション・講評	会			遅れ	ている分は時間	外に実施			
	43	ブラッシュアップ				遅れ	ている分は時間	別に実施			
	44	ブラッシュアップ				遅れ	ている分は時間	別に実施			
	45	ブラッシュアップ									
	で評	明試験(筆記)は実施せず 評価する。 責評価基準は、S(90点以									
			言語情報	運動技能	態度•意欲	その他	評価割合				
		設計評価		0				50%			
評価方法		プレゼンテーションカ		0				30%			
		グループワーク		0				20%			
	_										

履修上の注意

出席が授業回数の2/3に満たない場合は、単位を認めない。 グループワークの協働を怠り、私語、居眠り、離席、携帯電話使用、他教科を学習等、授業態度に問題がある場合は状況に応じ減点評価を行う。

	_															
科目名	3	建築計	·画IV	<i>I</i>		_										
科目名(英)	Α	Architectur	al Plan	ining IV												
単位数	_	2単位	<u>立</u>	時	間数	30時間	担当者	赤星 亜美								
実施年度		2023年	F度 	実施	医時期	後期	担当者実務経験	オーダー家具制作会社で インテリアコーディネーター として勤務								
対象学科•学年	3	建築工学科	↓ 2年													
授業概要						つる。様々な施設の条件に 自ら設計提案できる力を		査・研究を通して								
授業形態	講	義: 0	演	習:	実習:	実技:	※ 主たる形	/態:○ その他:△								
	言語 情報	技能 技能 意	態度 意欲 その他			目標										
	0	0				間査、研究が出来ている										
学習目標	0		'			の特徴を把握し、建築記										
(到達目標)	0) O 百貨店、スーパーマーケットの構造上の特徴を把握し、建築計画を立てられる														
	0															
	0	つ														
テキスト・教材 参考図書		テキスト: 初学者の建築講座 建築計画(改訂版) 参考図書:カラー版図説 建築の歴史 西洋・日本・シ 代、コンパクト建築設計資料集成、ホテル・旅館 市ヶ谷出版、「新建築」等の建築雑誌 その他														
	回数	代、コンパクト建築設計資料集成、ホテル・旅館 市ヶ谷出版、「新建築」等の建築雑誌 その他 授業項目・内容 授業外学修指示														
		ガイダンス 6-1規模計画と経済効率 予習・復習することを心がける。														
				務所ビルの変遷	:		予習・復習することを 実際に見学することを	心がけ、学んだ分野の建築を を推奨する。								
	3	6-2事務所ピ	ごル 事剤	務所ビルの計画			予習・復習することを実際に見学することを	·心がけ、学んだ分野の建築を を推奨する。								
	4	6-2事務所ビ	ごル 各国	≱計画			予習・復習することを実際に見学することを	心がけ、学んだ分野の建築を を推奨する。								
	5	6-3劇場•音	楽ホール	レの変遷			前回までの授業内容ので、復習しておくこ	に係る確認テストを実施すると。								
	6	6-3劇場•音	楽ホール	レの計画			予習・復習することを 実際に見学することを	:心がけ、学んだ分野の建築を を推奨する。								
	7	6-3劇場•音	楽ホール	レ 客席・舞台の)計画		予習・復習することを 実際に見学することを	・心がけ、学んだ分野の建築を を推奨する。								
授業計画	8	6-4百貨店・	スーパー	ーマーケットの変	遷		前回までの授業内容 ので、復習しておくこ	ドに係る確認テストを実施する と。								
	9	6-4百貨店・	スーパー	ーマーケット 大規	規模小売店	舗の計画	予習・復習することを 実際に見学することを	:心がけ、学んだ分野の建築を を推奨する。								
	10	6-4百貨店・	スーパー	ーマーケット 売り	り場の計画・	·駐車場	予習・復習することを 実際に見学することを	・心がけ、学んだ分野の建築を を推奨する。								
	11	6-5 宿泊施 定義·種類·2	· i設 ·分類·機	能·基本条件			前回までの授業内容ので、復習しておくこ	に係る確認テストを実施すると。								
		6-5 宿泊施 構成要素·剖	도 글다				予習・復習することを 実際に見学することを	心がけ、学んだ分野の建築を を推奨する。								
		6-5 宿泊施 ゾーニング・!	노들다				予習・復習することを 実際に見学することを	·心がけ、学んだ分野の建築を を推奨する。								
	14	6-5 宿泊施	拖設				実際に見学することを									
	15	総括 I					授業内容に係る確認 ておくこと	テストを実施するので、復習し								
	以」	上を下記の)観点・語	割合で評価す	する。	2)レポートを数回実施す。 以上)・B(70点以上)・C(6										

麻生建築&デザイン専門学校 シラバス

		言語情報	知的技能	運動技能	態度•意欲	その他	評価割合
	定期試験	0	0				80%
評価方法	小テスト	0	0				10%
	宿題・レポート	0	0				10%
履修上の注意	上記評価に加え、出席が打	受業回数の2/	/3に満たない	、場合は、単位	位を認めない	0	

科目名	7 3	建築	環均	竟工	.学									
科目名(英)	Α	rchite	ctural	Envir	onmenta	l Engineerin	ıg							
単位数		;	2単位			時間数	30	時間	担当者	=	C藤 有紀			
実施年度		20)23年度	ŧ	身	E施時期	1	 发期	担当者実務経		ーカーでインテリア ネーターとして勤務			
対象学科•学年	3	建築工	学科	2年										
授業概要								的・心理的な知 に対応出来る	ロ見を整理・統1 ようになる	合し、建築	計画に役立て、			
授業形態	講	義:	0	演習	3:	実習:	3		※ 主たる	形態:〇	その他:△			
	言語 情報		重動 態度 支能 意欲	その他		1	"	目標						
	0	0			環境工学	の要素(日射	j・光・色彩・S	空気・湿気・温熱	ぬ・音)に関連する	各図を読∂	ヶ解くことができる			
学習目標	0	0			環境工学	の要素(日射	j・光・色彩・S	空気・湿気・温熱	ぬ・音)の特徴と留	『意事項につ	ついて説明できる			
(到達目標)	0	0			環境工学の	要素(日射・光・	·色彩·空気·湿	気・温熱・音)に関し	て計算式を用いて	必要な数値を算	算出することができる			
	0	0			環境工学(の要素(日射・	·光·色彩·空	気・湿気・温熱・	音)の課題点と対	策について記	述べることができる			
テキスト・教材 参考図書		建築環境工学 市ヶ谷出版 ナリジナルプリント												
	回数		授業項目·内容											
	1	建築	建築環境工学の役割											
	2	太陽	建築環境工学の役割 に陽位置と日照・日影の関係 ***********************************											
	3	日影	曲線・⊩	1影問	持間				教科書予習する					
	4	日射:	量∙日∮	付調食	ī				教科書予習する					
	5	光環:	境・測シ	七量・	照度計算	Γ			教科書予習する					
	6	明視	条件・技	采光					教科書予習する					
授業計画	7	採光	による!	照度言	十算・採爿	七計画			教科書予習する					
1文未計 凹	8	人工!	照明·則	預度 言	算(光東	法)			教科書予習する					
	9	色彩	の表し	方·表	色法				教科書予習する					
	10	色彩	の効果	•色采	計画				教科書予習する					
	11	室内:	空気汚	染物	質と許容	濃度			教科書予習する					
	12	各汚	染物質	に伴	う必要換	気量の計算	Ī		教科書予習する					
	13	自然	換気の	種類	と風力換	気の計算			教科書予習する					
	14	自然	換気・波	温度差	換気の	計算・通風			教科書予習する					
	15	機械	換気方	式∙挡	画信灵				期末試験のため会	までの振り込	≅りをする。			
						解度確認っ)・A(80点)			0点以上)•D(5	9点以下)。	ᆣ する。			
評価方法		言語情報 知的技能 運動技能 態度・意欲 その他 評価割合												
			定期記			0	0				80%			
		定	加テス 題・レス	-		0	0				10%			
履修上の注意	H					 たない場合	_	<u> </u> 認めない。			10/0			

科目名	建築設備														
科目名(英)	Building Facilities														
単位数	2単位	時間数	308	寺間	担当者	2	を元 幹雄								
実施年度	2023年度	実施時期	後	期	担当者実務経験		築技術担当。建材・都市開 主宅部門に従事								
対象学科·学年	建築工学科 2年														
授業概要	建築設備の概要から各該 設備計画を立てる力を育		₫類∙構成まで	、包括的に基	専門知識を学び、	建築環境の基	基礎知識に基づい <i>た</i>								
授業形態	講義: 〇 演習:	- 実習:	- 実	技: -	※ 主たる形態:○ その他:△										
学習目標 (到達目標)	〇 〇 空気調 〇 〇 空気網 〇 〇 建築計	(備の役割・種) 和方式の種類 図を読み解き 画における省 設備の種類と	質・特徴を説 ・、空調負荷()エネ手法を違	月できる こついて説明 算き出せる	目標目することができる)									
テキスト・教材 参考図書	初学の建築講座 建築設備 第3版 授業 40 学 60 指示 おおお おお か か か きゅう か お ま か 学 60 ま ま ま か 学 60 ま ま ま ま ま ま ま ま ま ま ま ま ま ま ま ま ま ま														
	授業項目・内容 授業外学修指示 建築設備概要(1・1建築設備とは) 教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと														
	1 建築設備概要(1・1建築設備とは) 教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと														
	2 給排水衛生設備 2・1給排水衛生設備とは 教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと														
	2 給排水衛生設備 2・1 給排水衛生設備とは 教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと 3 2・2 給水設備 教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと														
	4 2-3給湯設備				教科書の該当範囲を	を事前に読んでお	さくこと								
	5 2.5排水・通気設備			教科書の該当範囲を	を事前に読んでお	s<こと									
	6 2.6排水処理設備				教科書の該当範囲を	を事前に読んでお	s<こと								
	7 2.7衛生器具設備 2.	8消火設備			教科書の該当範囲で	を事前に読んでお	らくこと								
授業計画	8 空気調和設備 3・1空気調	周和設備とは 3	3・2空気調和と	室内環境	教科書の該当範囲で	を事前に読んでお	らくこと								
	9 3・3空気の状態を知る	3・4空調負荷	苛の考え方		教科書の該当範囲を	を事前に読んでお	S<25								
	10 3・5空気調和方式の種	類 3.6熱源	•熱搬送設備	と機器部材	教科書の該当範囲を	を事前に読んでお	S<25								
	11 3.7換気.排煙設備				教科書の該当範囲を	を事前に読んでお	3< 2 E								
	12 電気設備 4・1電気設備	備とは			教科書の該当範囲を	を事前に読んでお	3< 2 E								
	13 4・2受変電・幹線設備				教科書の該当範囲を	を事前に読んでお	3< 2 E								
	14 4・5照明・コンセント設化 5・1・1エレベーター	備 4∙6情報・	通信設備搬	送設備	教科書の該当範囲で	を事前に読んでお	。 らくこと								
	15 まとめ				本科目における学習	ョ 日内容を復習して	おくこと								
	定期試験規定にもとづき、記 成績評価基準は、S(90点以						0.								
		言語情報	知的技能	運動技能	態度•意欲	その他	評価割合								
評価方法	定期試験	0	0				80%								
	小テスト	0	0				10%								
	宿題・レポート	0	0				10%								
履修上の注意	出席が授業回数の2/3に	満たない場合	↑は、単位を認	見めない。											

科目名	CAE	演	图V												
科目名(英)															
単位数		4単位		時間	数	608	寺間	担当者		笠 真由美					
実施年度	20	23年月	美	実施問	朔	後	:期	担当者実務経	· 験						
*************************************	建築工	学科	2年												
授業概要	演習を	通して、	レイアウト	〜空間でのほ	印刷スポ	キルの習得及	びCAD操作の)正確さ、図面の	読図能力、応月	月力の習得を図る					
授業形態	講義:	Δ	演習:	0 :	実習:	実	 技:	* 3	上たる形態: ○	その他:△					
	言語 知的 道情報 技能 技	型動 態度 技能 意欲	その他				目標								
	00		建築	設計ツール	の一つで	であるAutoCAD	の必要な機能を	を選択し使用する	ことができる。						
学習目標	0 0		複数	図面の関係	性を立体	本的に捉え作図	することができ	る。							
到達目標)	0 0		意匠	図の作図を	通じて部	きを学び、建物の	の計画に応用する	らことができる。							
	0 0		構造	図面の作図	を通じて	こ、部材の名称を答	<u></u> 答えることができる	5 .							
	0 0														
キスト・教材 参考図書		テキスト::オリジナルプリント 参考図書:超入門 建築製図(市ヶ谷出版) 同数 授業項目・内容 授業外学修指示													
	回数	オルジナルプルル													
	1 2	鉄筋	小 の基本 (学芸出版	克 社)											
	3 4	鉄筋	コンクリー	ト住宅 1階	雪平面区	(2)		オリジナルプリン 建築製図 基本	小 の基本 (学芸出版	⊽ ∤†)					
	5 6	鉄筋	コンクリー		雪平面区	1 1		オリジナルプリン							
	7 8	鉄筋:	コンクリー		当平面区	<u> </u>		オリジナルプリン							
	9 10	鉄筋:	コンクリー	ト住宅 断	面図(1)			オリジナルプリン	小						
	11 12			· i				オリジナルプリン	•						
	13 14			· 住宅 立ī 卜住宅 立ī				建築製図 基本 オリジナルプリン	の基本 (学芸出版 小	<u></u>					
授業計画	\vdash							建築製図 基本 オリジナルプリン	の基本 (学芸出版 ル	克 社)					
	15 16			ト住宅 立					の基本 (学芸出版	支社)					
	17 18	鉄筋:	コンクリー	ト住宅 配記	置図、し	ノイアウト空間	での印刷	建築製図 基本	の基本 (学芸出版	፬社)					
	19 20	鉄骨	造住宅 1	階平面図(1)				の基本(学芸出版	克 社)					
	21 22	鉄鉄	骨造住宅	1階平面图	図②、餅	·骨造住宅 3	階平面図①	オリジナルプリン 建築製図 基本	小 の基本 (学芸出版						
	23 24	鉄骨	造住宅 2	階平面図(2			オリジナルプリン 建築製図 基本	小 の基本(学芸出版	克 社)					
	25 26	鉄骨	造住宅 圏	新面図①				オリジナルプリン							
	27 28	鉄骨	造住宅 と	折面図②、銀	跌骨造(主宅 立面図(D	オリジナルプリン							
	29 30	鉄骨	造住宅 ゴ	江面図②、月	印刷			度業製図 基本 授業内容の復習 データ提出		▲ 土 /					
	以上を下	記の勧	見点・割合	で評価す	る。	の提出を求 以上)・B(70		(60点以上)·□	(59点以下)と	ゔする。					
評価方法				言語	情報	知的技能	運動技能	態度·意欲	その他	評価割合					
	提出状況	(提出	スピード) ()	0				30%					
	演習問題	(正確	(さ)	(0	0				70%					
						1									

科目名	E	3IM)	寅習	₹ I										
科目名(英)	E	Building	g In	formation	on Mo	deling	I							
単位数		4単	单位		時	間数	608	時間	担当者		道脇 力			
実施年度		2023	3年度	ŧ	実旅	Б時期	後	期	担当者実務紀	圣験 建築設	計会社にて設計担当			
対象学科•学年	3	建築工学	科	2年										
授業概要						[・] ル作成、 課題に取		断面の基本	図作成のワー	-クフロー湾	賀を通して			
授業形態	講	 義:		演習:	0	実習:	実	 技:	※ 主た	る形態:○	その他:△			
	言語情報	知的 運動 技能 技能		その他										
		0		覚え	えたコマ	ンドを効果	異的に活用し	てモデリング	を行うことが ^っ	できる。				
学習目標		0		Ŧ	デルから	基本図を	生成し、図面	化を行うこと	ができる。					
(到達目標)		○ 材質、レンダリングの設定を行い、パースを作成することができる。												
		O レイアウトを使ってプレゼンテーションボードを作成することができる。												
		自身で思い描いた形、空間をARCHUCADを使って表現できる。												
テキスト・教材 参考図書	4	ARCHIC	AD	22 Ma	agic Vo	1. 1及び\	/ol. 2(グラ:	フィソフト提供	トレーニング	ドキュメント	.)			
	回数	ARCHICAD 22 Magic Vol. 1及びVol. 2(グラフィソフト提供トレーニングドキュメント) 授業項目・内容 授業外学修指示												
	1 2	1 RIMの概要 モデル入力「メッシュ 柱 梁 辟」 テキストを見て予翌を行うこと												
	3	2 3 モデルλカ[ドア 窓 スラブ 階段 オブジェクト」 前回の復習を行うこと												
	5	4 モデル入力「トア、窓、スフノ、階段、オノンェクト」 削回の復省を行うこと 前回の復習を行うこと												
	7	5 モデル入力「2階、3階、屋上の作成、カーテンウォール」 前回の復習を行うこと 前回の復習を行うこと 前回の復習を行うこと												
	9	7 8 モデル入力「断面図、立面図、レンダリング、レイアウト」 前回の復習を行うこと 前回の復習を行うこと 前回の復習を行うこと												
	11 12	課題1:	モデ	ル再入力	」「3階、	屋上、レー	イアウト」		前回の復習	を行うこと				
授業計画	13 14	環境モ	デル	作成、材	質設定	、レンダリ	ング設定		前回の復習	を行うこと				
	15 16	プレゼン	ノテ-	ーションオ	ボード作り	ず「データ	'提出」		前回の復習	を行うこと				
	17 18	ツールの	の応	用、特殊	ツールの	の紹介、質	質疑応答		前回の復習	を行うこと				
	19 20	課題2:	作成	モデルの)リノベー	ーション「コ	コンセプト」		情報、資料場	収集を行う	<u>-</u> E			
	21 22	課題2:	作成	モデルの)リノベ-	-ション「 <i>こ</i>	エスキス①」		情報、資料場	収集を行う	٢			
	23 24	課題2:	作成	モデルの)リノベ-	ーション「こ	エスキス②」		情報、資料場	又集を行う	٤			
	25 26	課題2:	作成	モデルの)リノベー	−ション「 <i>=</i>	Eデリング①	J	タイムスケジ	ュールの値	笙認を行うこと			
	27 28	課題2:	作成	モデルの)リノベ-	-ション「 <i>-</i>	Eデリング②	J	タイムスケジ	ュールの征	笙認を行うこと			
	29 30	課題2:	作成	モデルの)リノベ-	ーション「フ	プレゼン資料	提出」	必要提出資	料の確認を	行うこと			
	以」	Lを下記	の観	点·割合	で評価	する。			内に提出する。 60点以上)・D		とする。			
評価方法					言	語情報	知的技能	運動技能	態度•意欲	その他	評価割合			
		提出期	限()	スピード)			0				20%			
		課題作品	品(出	来映え)		0				80%			
履修上の注意	Ŀ	出席が授	業回	回数の2/	3に満た	ない場合	は、単位を認	思めない。	·					

科目名	;	造Ŧ	形学	之I	V										
科目名(英)	A	Archi	tectı	ural	mod	eling IV									
単位数		2	2単位	ኔ		時間	数		30時間		担当者		古賀(发 光	
実施年度		20	23年	度		実施時	期		後期		担当者実務	経験 設計事	事務所にて建築	デザインに従事	
対象学科・学年	3	建築:	工学	科	2年										
授業概要	i 5	近年、 記識(、パン のない	ノコン い施	ノ・Ci 主に	は模型を	高くな 作成し	り、I 提示	見場でも すること	は建	星物をイメージ	沁やすく、フ	っている。しか プレゼンテーシ を学習する。	し、建築の /ョンとしては有	
授業形態	講	義:			演 [:]	習: 0	実	習:		実	技:	※ 主#	こる形態:〇	その他:△	
	言語 情報	知的 技能	運動 技能	態度 意欲	その他						目標				
		0	0								:ができ、スク	• • •	ができる		
学習目標		0	0			模型完成	を見据	え使	用材料を	を選	定することが	できる			
(到達目標)															
テキスト・教材 参考図書	7	テキス	スト:	 定番	<u> </u>	· 築製図入	門								
	回数					授	漢項目	·内?	 容				授業外学修	 指示	
	1	ガィ	ダン	ス・	模型	の大きさ・	必要材	排 0	り拾い出	し					
	2	模型	世作月		の図	面作成						予定に遅れて	いる内容は時間	外に取組むこと	
	3	敷均	也・土	:台作	 乍成							予定に遅れて	いる内容は時間	外に取組むこと	
	4	道路	各∙敷	地化	乍成							予定に遅れて	いる内容は時間!	外に取組むこと	
	5	建物	勿本位	本作	成							予定に遅れて	いる内容は時間	外に取組むこと	
	6		勿本位									予定に遅れて	いる内容は時間	外に取組むこと	
	7		勿本位									予定に遅れて	いる内容は時間!	外に取組むこと	
授業計画	8		勿本位									予定に遅れて	いる内容は時間	外に取組むこと	
	9		勿本位									予定に遅れて	いる内容は時間	外に取組むこと	
	ļ.		勿本位									予定に遅れて	いる内容は時間	外に取組むこと	
	11		勿本に									予定に遅れて	いる内容は時間	外に取組むこと	
	<u> </u>		勿本的									予定に遅れて	いる内容は時間!	外に取組むこと	
	-		帯部分)						予定に遅れて	いる内容は時間	外に取組むこと	
			帯部分									予定に遅れて	いる内容は時間	外に取組むこと	
	-		井上に												
	以」	Ŀを ⁻	下記(の観	点・	割合で評値 (90点以上 	ffする。)・A(80	0点以	以上)•B((70 គ	T	0点以上) • □	(59点以下)。	T	
評価方法				LD : '			言語情	報	知的技	能	運動技能	態度•意欲	その他	評価割合	
			課題:						0		0			30%	
		誅	題作	F品:	元灰				0		0			70%	
履修上の注意	<u> </u>	出席	が授	業回	回数0	D2/3に満7	こないせ	場合	は、単位	を認	 めない。				

科目名		イン	ァテ	リアコ]_	-ディ	オーシ	ノヨン								
科目名(英)	ir	nterio	or c	coordina	tion											
単位数			2単	位		時	間数	301	時間	担当者		赤星 亜美				
実施年度		2	023	年度		実法	施時期	後	於期	担当者実務経		ダー家具制作会社で コーディネーターとして勤務				
対象学科·学年	3	建築二	匚学	科 2年							·					
授業概要	đ	こレメ	ントの 基本	の知識、3	空間ス 哉を学	ケール 習する	の感性育ら	或は、設計か	つコーディネー	トにおいて重要で	である。この授業	ける、歴史様式(スタイル) では、カラーとスタイルに 设影図、模型製作での				
授業形態	講	義:	Δ	2 演	習:	0	実習:	実	技:	※ 主たる形態:○ その他:△						
	言語 情報		運動 技能	態度 きの他						目標						
		0			インラ	・リアを相	構成するエレ	メントの種類、	ナイズ等を把握し	、、適切な空間スケールで設計が出来る。						
学習目標	0	0			インラ	テリアコー	-ディネートの	の根拠となる色質	彩論やスタイル(について、関連した用語の概要を説明することができる。						
(到達目標)	0	0			10以.	上の名作	作椅子のデ り	デイナー名と作品	、、かつ特徴を説明	することが出来る	>					
		0	0		カラー	-スキム	、図面、パー	-ス作成、かつ樽	得性高いプレゼン・	テーション表現する	らことが出来る。					
	参支	全図主	:.[√	ハテリア	ກ≣±ī	面と設計	┼」お国社	文学新光社 「ス	トーリーのあろ5	0の名作格子家内 เスペ−ス						
テキスト・教材 参考図書	シャワ	き考図書:「インテリアの計画と設計」彰国社、「名作椅子の由来辞典」誠文堂新光社、「ストーリーのある50の名作椅子案内」スペー ャワーネットワーク、「世界で一番美しい建築デザインの教科書」イクスナレッジ、「インテリアトレンドビジョン」、「新インテリアカラーコーデ 、ート『ザ・ドア論』」トーソー出版														
	回数	授業項目•内容 授業外学修指示														
	1	講義	(1)	ガイダン	ス	演 ²	習①スケ-		提出物あり							
	2	講義	2	インテリ	ノアデ	゚゙ザイン	の歴史									
	3	演習	2	デザイ	ナーは	研究				グループワークと	して調査研究、レア	ポート発表				
	4	講義	3	インテリ	ノアエ	レメン	ト論									
	5	演習	13	ショップ	゚・ブラ	シンド研	究			グループワークと	して実地調査、レア	ポート発表				
	6	講義	4	インテリ	ノア色	,彩論•	スタイルも	ヹグメンテージ	ンョン							
授業計画	7	講義	5	インテリ	ノア業	界論•	トレンド情	報								
12米前凹	8	実習	1	課題発	卷表(信	主宅又は	ショップ、イ	ベントスペース	等を設定)	グループワークと						
	9	実習	1	課題製	!作					グループワークと						
	10	実習	1	課題製	具作					グループワークと	して計画推進					
	11	実習	1	課題製	!作					グループワークと	して計画推進					
	12	実習	1	課題製	!作					グループワークと	して計画推進					
	13	実習	1	課題製	!作					グループワークと	して計画推進					
	14	実習	1	課題製	4作					グループワークと	して計画推進					
	15	プレ	ゼン	⁄テーシ≣	ン発	表会				グループ毎にプレ	ゼンテーション発	表				
	(2)	定期	試懸		は実	施せす	゛、下記の	観点・割合で 以上)・B(70		60点以上)•D(5	59点以下)とす	వ .				
						Ī	言語情報	知的技能	運動技能	態度•意欲	その他	評価割合				
== 1 -		宿		・レポー	١-		0	0				10%				
評価方法				習作品図作品				0				20%				
		- Ĵ1		習作品	= `,		©	0	0			50%				
		70	- ت	- , -).	コン		<u> </u>	S				20/0				
	出席	が授美	美回 拳	数の2/3に	満たな	い場合	よ、単位を認	めない。								

履修上の注意 宿題・レポートを合わせて2つ以上未提出、または実習作品を未提出の者は不合格とする。 担当教員が特別に許可した場合にのみ授業中のスマートフォン使用を認める。

科目名	F	Photo	sh	op III	ustra	tor I								
科目名(英)	Р	Photoshop Illustrator II												
単位数		2 単	単位		時	間数		30時間	担当者	r.	公本 剛太			
実施年度		2023	3年月	复	実施	時期		後期	担当者実務経	験				
対象学科・学年	趸	建築工学	科	2年										
授業概要				基本操作 1識の浸			る重点を学	! ऽ `						
授業形態	講	義: 4	Δ	演習:	0	※ 主たる	S形態:○	その他:△						
	言語 情報	知的 運動 技能		その他		票								
 学習目標		0			strator <i>0</i>									
(到達目標)		0			strator(きる								
		○ オブジェクトの編集をすることができる ○ Photoshopとの連携を意識した処理ができる												
		0		Ph	otosnop	との連携	を思誠しん	こ処理かじざる)					
テキスト・教材 参考図書	情	青報リテ [・]	ラシ・	— Offic	e2016									
	回数				授業	項目・内	——— 容		授	受業外学修	 指示			
	1	Illustrat	ior Ł	Photosh	iopの基	本 ベクト	・ルとラスケ	ターの理解	Illustratorのイ	「ンストール	,			
	2	図形や	線を	描く					ツールの使い方	を復習してお	くこと			
	3	オブジュ	ェクト	 ·の選択。	と基本的	な変形			ツールの使い方	を復習してお	くこと			
	4	色と透り	明度	の設定	СМҮК	友につい [・]	τ		ツールの使い方	を復習してお	くこと			
	5	オブジュ	ェクト	 ·の編集	 と合成				ツールの使い方	を復習してお	くこと			
	6	線と文=	 字の	 設定					ツールの使い方	を復習してお	くこと			
	7	その他	有効	 活用す・	るべき機	能			ツールの使い方	を復習しておっ	くこと			
授業計画	8	紙面レー	イア・	ウト演習	1 文字(り役割			ツールの使い方	を復習してお	くこと			
	9	紙面レー	イア・	 ウト演習	2 段組の	 D活用			ツールの使い方	を復習してお	くこと			
	10	Photosl	hopd	<u>└</u> Illustra	torの連	携 画像	の配置と -	 その機能特性	ツールの使い方	を復習してお	くこと			
	11	Illustrat	or縛	習問題	1 練習問	問題の解認	 説		ツールの使い方	を復習してお	くこと			
	12	Illustrat	or縛	習問題	2 練習問	問題の解答	 答		練習問題の復習	l				
	13	Illustrat	or縛	習問題	回答と	解説	-		練習問題の復習	1				
	14	Illustrat	or縛	習問題	3 解説な	しでの独	 由力解答		練習問題の復習	I				
				習問題										
							ころも	出・内容により						
	成績	責評価基	準は	‡、S(90	点以上)	•A(80点	(以上)•B	(70点以上)•C	(60点以上)·D	(59点以下)			
評価方法					1	語情報	知的技	能運動技能	態度•意欲	その他	評価割合			
		小-	テス	<u>F1</u>		0	0				50%			
		\J\-	テス	<u>F2</u>		0	0				50%			
履修上の注意	P	C・スマ	-ŀ:	フォン等	でのイン	ターネッ	トを用いた	:調査を許可す	-S					

科目名	勍	職	実系	务 I I	3									
科目名(英)	Ca	Career Study 1B												
単位数		2萬	单位		時間	間数	30	時間	担当者	各	クラス担任			
実施年度		2023	3年度	Ž	実施	時期	1		担当者実務網	圣験				
対象学科・学年	建	築工学	科	2年										
授業概要							人材の育成 りな振る舞(いを身に着け、	習慣化する					
授業形態	講義	: (C	演習:		※ 主たる形態:○ その他:△								
		的 運動 技能	態度 意欲	その他			·	目標						
	0			就	職活動に	る								
学習目標	0				本的な面									
(到達目標))				ケーションがつ	できる							
		O 企業研究ができる V 学校求人を利用するための条件を知っている												
	()		学	校求人を	利用する	かんめの条	牛を知っている	5					
テキスト・教材 参考図書	学	交支給	の G	iCBテキ	テスト 就耶	敞活動ガ	「イドブック							
	回数				授業	項目•内	容			授業外学修	指示			
	1 1	*業講	活 写	記践的な	課題の提	案 * メー	ールアドレス	の確認と管理	就職活動ガイト	ジックを孰詩し	ておくこと			
	_						仕事とは		就職活動ガイト					
	0						-	つ地地						
	4						·要なサーヒ キッ	◇付付	就職活動ガイト					
	- 小				心構えり		-		就職活動ガイト					
	ъ							ンテーション1						
		間間	動に	関する心	ひ構え 課	題作品の)模擬プレゼ	ンテーション2	就職活動ガイト	ブックを熟読し	ておくこと			
授業計画		職活	動に	関する心	ひ構え 課	題作品の	(模擬プレゼ	ンテーション3	就職活動ガイト	ブックを熟読し	ておくこと			
	8 京	職活	動に	関する心	ひ構え 課	題作品の	(模擬プレゼ	ンテーション4	就職活動ガイト	ブックを熟読し	ておくこと			
	9.	履歴書	書の書	書き方	・メールフ	アドレスの	D管理		就職活動ガイト	ブックを熟読し	ておくこと			
	10 .	履歴書	事の	書き方	随時添削	」・メール	ルアドレスの)管理	就職活動ガイト	ブックを熟読し	ておくこと			
	11 .	履歴書	ま 提と	出と添削	[1]				就職活動ガイト	ブックを熟読し	ておくこと			
	12 京	間間	動ス [,]	ケジュー	-ルを確認	及び』	順次個人面	談と企業対策	就職活動ガイト	ブックを熟読し	ておくこと			
	13 京	職活	動ス [,]	ケジュー	-ルを確認	及び』	順次個人面	談と企業対策	就職活動ガイト	ブックを熟読し	ておくこと			
	4.4							談と企業対策						
	4-							談と企業対策						
評価方法								を総合的に判						
		言語情報 知的技能 運動技能 態度・意欲 その他 評価割合 受講態度・意欲 O O 30%												
						0	0				30%			
		課題	頭の!	提出		0	0				70%			
履修上の注意	出月	席が授	業国	回数の2	/3に満た	ない場合	合は、単位を	認めない。						

科目名	:	キャリア教育 I (選択)																
科目名(英)																		
単位			2単	.位			時間	引数		30時間		担当者	4	トクラス担任				
実施年度		2	2023	年度	Ę		実施	時期		後期		担当者実務網	圣験					
対象学科•学年	3	建築コ	エ学	科	2年													
授業概要												識付けと、求 習を中心に持		書の具体的な書 ていく				
授業形態	講	義:	С)	演習	習:	Δ	実習:		実技:		※ 主た	-る形態:○	その他:△				
	言語 情報	知的 技能		態度 意欲	その他				•		目標	Ę						
	0	0				自己分	日己分析を基に、自己PRをまとめることができる											
学習目標	0	0			企業の目線を意識した志望動機を書くことができる													
(到達目標)	0	0					毎接時の基本的なマナーが身につき、問題なくふるまうことができる											
	0	0				面接官	面接官の質問に対し、問題なく受け答えができる 											
_ 1 _ 1 _ 11 11																		
テキスト・教材 参考図書	京	就職ガイドブック																
	_{回数} 授業項目·内容												授業外学修	指示				
	1 就職活動のための準備 ガイダンス																	
	2 求職票の書き方 「自己PR」の書き方											自己の強み自己分析し		いて自分なりに				
	3 求職票記入 下書き・添削																	
	4 履歴書の書き方 「学生時代に力を入れたこと」「志望動機」など													き、また希望企業 りに考えておくこ				
	5 求職票受付面接について 概要説明											1						
	6	求聆		5付	面接	練習	入退	室・立ち	居振る舞	い・おじ	Ę.							
授業計画	7	求聆	ままり	受付	面接	練習	面接	官の視	点·第一E]象につい	ハて							
1文未訂 凹	8	求職	票受	付百	面接網	練習	質問と	と答え方、	 、正しい敬	 語の使い	方 ①							
	9	求職	: 票妥	· ·什i	面接網	練習	質問と	- 答え方.	正しい敬	語の使い	方 ②							
	10					練習		で実践総		HH DC -								
	11					練習		で実践総										
	12					練習		で実践総										
		企業							・セミナー	二参加		4 L- L-7 A	Alle 1 — — 1					
		企業		_					・セミナー			参加する企 規模等事前		、事業内容、事業 くこと				
	-								文書の作			ヴ4.だ文聿の	津キちについ	へて復習しておくこと				
	10	ر٠٠ تا	ر٠٠ تا	' ひ干	X 🗆 🗉	ョい <u>申</u> で	= /J	こノヤハ	ス百の日	1176		于7072人音07	·自己///につい	・て後日してのへこと				
評価方法	(1)	受講	態度	复•意	〔欲	(2)課	題の	提出 以	上の内容	を総合的)(こ判断	fし R評価(F	可、不可)で	判断する。				
日日叫ノノル						_	言	語情報	知的技	能 運動	技能	態度•意欲	その他	評価割合				
					•意谷	次		0	0					30%				
			課題	<u></u> の	是出			0	0					70%				
履修上の注意	E	出席な	が授	業回]数 <i>σ</i>	2/31=	満たな	い場合	は、単位	を認めない	ر۱ _°							

科目名	ŧ	検定対策ゼミB(選択)2級建築施工管理技士資格試験												
科目名(英)														
単位数		2È	単位			時間数	308	時間	担当者	- 第	译路 正巳			
実施年度		202	3年月	隻	身	尾施時期	後	·期	担当者実務経験		会社にて、主に施工 里職として勤務			
対象学科•学年	頦	建築工学	科	2年										
授業概要	4	卜試験 台	格を	視野	に、過去	問題演習を		組む(正解率	に重点を置いた。 60%以上を目指す					
授業形態	講	講義: O 演習: △ 実習: 実技: ※ 主たる形態: O その他: △												
	言語 知的 運動 態度 情報 技能 技能 意欲													
	0	0			建築施工									
学習目標	0	0		<u> </u>		去問の平均正解率60%以上を獲得できる。								
(到達目標)	0	○ 模擬テストの平均正解率60%以上を獲得できる。												
テキスト・教材 参考図書		①. 2級建築施工管理技士要点テキスト〈2021年度版〉市ヶ谷出版社 ②. 2級建築施工管理技士即戦問題集〈2021年度版〉市ヶ谷出版社												
	回数				授	業項目•内	容		授	業外学修	指示			
	1	実力	確認	テスト	/本試	験の概要説								
	2	過去	問題	演習	·解説01			-						
	3	過去	問題	演習	-解説02		-							
	4				・解説03		_							
	5	過去	問題	演習:	- 解説04		_							
	6				・解説05			77 -L > 1 -4						
	7	模擬						」・後期ゼミは演習中心となります。 問題解説は数が限られてしまうため、						
授業計画	8								- 必ず自分で(解説書を)確認してください。 ・・ 宿題がほぼ毎回出ます。必ず、消化していく事。(弱点の洗出しに役立ちます)					
	9				·解説07									
	10				·解説08									
	11				·解説09									
	12				·解説10									
	13				·解説11									
	14	模擬			7,7 4,76				_					
	15			・ デスト	- (3)				-					
	(1 پل)授業中 以上を下	Pに/	トテス)観点	トを実施 ・割合で	評価する。		回程度)を実 70点以上)・C	」 施する。 ○(60点以上)・D(59点以下)とする。			
評価方法						言語情報	知的技能	運動技能	態度•意欲	その他	評価割合			
		テスト				0	0				70%			
	小ラ	ト				0	0				30%			
屋板しの冷辛	,,	⊔ che ≁⊱₊≂	2 ATC 1=	コ 米 - へ	0 /01= :#	ナ ₋ ナ>! 14日 へ	 	1 th t > 1 >						
履修上の注意	l 🛚	ロボか技	まし	山奴の	∠/ 幻〜満	にはい場合	は、単位を認	なめいない						

科目名	7	検定対策ゼミB(選択)インテリアコーディネーター											
	`1	大 人			<u> </u>				/ -	11 /			
科目名(英)			- AH	ч /T			n+ 98 #L		^ ^ n+ 98	TO M #		-	
単位数			2単				時間数		30時間	担当者	ナーダー宏	赤星・亜美	
実施年度			2023	年度	<u> </u>		実施時期		後期	担当者実務経		具制作会社でインテリアコー ィネーターとして勤務	
対象学科・学年	3	建築 .	工学	科 2	2年								
授業概要							ンテリアコー 3得を図る	<u>ーー</u> ·ディネータ·	<u></u> −検定対策の≒	──── 学習を通して、建	 築概要とイン	テリアコディネーター知	
授業形態	講	義:	C	С	演習		実習:		実技:	* :	主たる形態:C) その他:△	
	言語 情報	知的 技能	運動 技能	態度意欲	その他								
	0						•		明することがて				
学習目標 (到達目標)	0		\bigsqcup	<u> </u>	+-+					準点をとることが	ができる		
(到连日憬)	0				+ +		ア設計(展開			·# F+ 7 -	18-17		
	0		\vdash	-		1ンテリ	アコーティイ	₹ <u></u> —₩——₩	(試験の合格基	準点をとることが	かぐざる		
テキスト・教材													
参考図書	T	テキスト:インテリアコーディネーター合格教本(上・下) インテリアコーディネーター問題集(上・下) その他											
	回数					-	受業項目•内]容			授業外学的	修指示	
	1	1 15章 建築関連法規											
	2	8	章 :	各種	エレ	メント				予習	₫・復習するこ。	とを心がける。	
	3												
	4	村	莫擬詞	試験						前回の確認テス	スト実施。予習・	復習することを心がける。	
	5	村	莫擬詞	試験						前回の確認テ	スト実施。予習・	復習することを心がける。	
	6	杉	莫擬詞	試験						前回の確認テス	スト実施。予習・	復習することを心がける。	
in all a	7	枢	莫擬詞	試験						前回の確認テス	スト実施。予習・	復習することを心がける。	
授業計画	8	相	莫擬 詞	試験						前回の確認テス	スト実施。予習・	復習することを心がける。	
	9	柜	莫擬詞	試験				前回の確認テス	スト実施。予習・	復習することを心がける。			
	10	柜	莫擬詞	試験		-		前回の確認テス	前回の確認テスト実施。予習・復習することを心がける。				
	11	柜	莫擬記	試験					前回の確認テ	前回の確認テスト実施。予習・復習することを心がける。			
	12	柜	莫擬記	試験						 前回の確認テスト実施。予習・復習することを心がける。			
	13	柜	莫擬記	試験						前回の確認テ	スト実施。予習・	復習することを心がける。	
	14	棹	莫擬 記	試験						前回の確認テ	スト実施。予習・	復習することを心がける。	
	15	棹	莫擬 記	試験						前回の確認テ	スト実施。予習・	復習することを心がける。	
	با	以上を	を下記	記の	観点	・割合で	評価する。 以上)・A(80 _. -	点以上)•B	(70点以上)・C	・ら宿題あり。((60点以上)・D(59点以下)とす	「る。	
							言語情報	知的技	能 運動技能	態度•意欲	その他	評価割合	
□ 本				国模			0					50%	
評価方法				・テス 宿題			0					25%	
				111 122	<u> </u>							25/0	
履修上の注意													

科目名	7	検え	定分	付货		ー ゼミE	3 (選	択)되	产业	■物取引□	<u> </u>							
科目名(英)		1/\/		.,,				= 1/ (/		_ 1/3-1/ 31 =	<u>-</u>							
単位数			2茸	鱼位			時	———— 間数		30時間	担当者	森行 美枝						
実施年度			2023	年度	<u> </u>	-1		時期			担当者実務経験	建築設計事務所にて設計・監理業務						
対象学科・学年	3:	建築:					7482					担当						
7338 3 11 3 1							71	* FA & FR F	3.5 'C 33 +	マー	- <i>-</i>	7-16-7-17-3-11-88-1-7-7-50-5-1-1-1-1-1-1-1-1-1-1-1-1-1-1-1-1-1-						
授業概要	彳	导す	る。 -	それ	によ	り、建)財産的				を推利取引に関する知識を修 後期は特に重要ポイントを絞り						
授業形態		義:	()	演	習:	Δ	実習:		実技:		る形態:○ その他:△						
	言語 情報	知的 技能	運動 技能		その他	<u>t</u>					目標							
	0	0				宅建	宅建業の業務内容と役割の特に重要な部分について、関連条文の規定を用いて説明											
学習目標	0	0				宅地	宅地建物取引士の実務における重要事項を条文規定を用いて正しく説明できる											
(到達目標)	0	0				民法	民法の権利義務関係について、小テスト・模擬テストで平均正答率60%以上を出すことがで											
	0	0				不動產	奎取引 手	≒続きに関	する問題	こついて、小テスト	ヽ・模擬テストで平均エ	E答率60%以上を出すことができる						
					0	宅地	建物取	引士資	格試験合	`格								
テキスト・教材 参考図書	Ė	出る順 宅建士 ウォーク問過去問題集2018年版①~③【東京リーガルマインド】																
	回数 授業項目・内容										1	受業外学修指示						
	用語の定義/免許制度/宅建士制度営業保証金/保証協 1 会/媒介契約等の規制										3 学習した箇所は 員に質問して理	必ず復習し、不明点は担当教 解に努めること						
	2					明/3 [*] ´単元 *		面 8種制	制限/業	務上の諸規制		正答できなかった問題は復習、または担当教員に質問するなどして不明点を明らかにしておくこと						
	3	報西	M/	住宅	;瑕』	庛担保	:履行法	ŧ			学習した箇所は必ず復習し、不明点は担当教 員に質問して理解に努めること							
	4		艮行: 勿権			者/意	思表示	₹∕代理	員に質問して理解に努めること									
	5							連帯債務		渡/債務不履	正答できなかった問題は復習、または担当教員に質問するなどして不明点を明らかにしておくこと							
	6	借均	也借	家法	:/借	地借	家法				員に質問して理	学習した箇所は必ず復習し、不明点は担当教 員に質問して理解に努めること						
1-4 ANA - 1	7	区分	}所	有法	/7	不動産	登記法	生/単元	テスト			た問題は復習、または担当教 どして不明点を明らかにしてお						
授業計画	8	都†定)					制度/規制法		達法(単位	は規定・集団規	学習した箇所は 員に質問して理	必ず復習し、不明点は担当教 解に努めること						
	9	土坩	也区i	画整	理法	去/農	地法/	国土利用	用計画法	/諸法例	学習した箇所は 員に質問して理	必ず復習し、不明点は担当教 解に努めること						
	10	上国	上利。	用計	画法	去/諸	法例/	不動産耶	な得税/	固定資産税	学習した箇所は 員に質問して理	必ず復習し、不明点は担当教 解に努めること						
	11	不重	边産	譲渡	所律	得 <i>/登</i>	·録免討	午税/印	紙税/賏	曾与税	学習した箇所は 員に質問して理	必ず復習し、不明点は担当教 解に努めること						
	12	地信	5公:	示法	/7	不動産	鑑定評	平価基準	/単元テ	- スト	正答できなかった問題は復習、または担当教 員に質問するなどして不明点を明らかにしてお くこと							

	13	住宅金融支援機構/景	、不明点は担当教 らこと											
	14	全国模擬試験①				学習した箇所は必ず復習し、不明点は担当教 員に質問して理解に努めること								
	15	全国模擬試験②	全国模擬試験② 学習した箇所は必ず復習し、不明点は担当教員に質問して理解に努めること											
	(1)単元テスト(2)模擬試験(3)宅地建物取引士資格試験の点数で評価する 成績評価基準は、平均正答率 S(90%以上)・A(80%以上)・B(70%以上)・C(60%以上)・D(59%以下)とす る。													
			言語情報	知的技能	運動技能	態度•意欲	その他	評価割合						
		単元テスト	0	0				40%						
評価方法		模擬試験	0	0				40%						
	宅	地建物取引士資格試験					0	20%						
履修上の注意	葉	難しい法律用語が多々出てくるので、用語の意味をその都度細かく確認すること												

科目名	XX	数学	ĔΞ	IΒ										
科目名(英)														
単位数		1単	Ú		時間	数	158	寺間	担当者	•	吉田	麻美		
実施年度		2023	3年月	支	実施時	期	後	:期	担当者実務網	圣験				
対象学科・学年	廷	建築工学	科	• 建築	CAD科 ·	インテ	リアデザイン	科 2年						
授業概要	Z	建築の各学科において必要とされる、基礎的な数学スキルの復習と習熟を目指す												
授業形態	講	義: ()	演習:	3	実習:	実	技:	※ 主た	:る形態:○	そ	の他: △		
	言語 情報	知的 運動 技能	態度意欲	その他			"	目標	<u> </u>					
	0	0		正	E三角形・二等辺三角形の性質と条件を利用した基本問題が解ける									
学習目標	0	三角形の合同条件を利用した基本問題が解ける												
(到達目標)	0	0		平	行四辺形の	性質と	全件を利用	した基本問題	 夏が解ける					
	0	三角形・四角形の性質と条件を利用した応用問題が解ける												
	0	三角形と四角形を用いた証明問題が解ける												
テキスト・教材 参考図書	オ	J ○ 三角形と四角形を用いた証明問題が解ける オリジナル演習プリント												
	回数				授業項	目・内容	 容			授業外学修	指示			
	1	【演習問	題】	三角形と	:四角形 正三	 の性質と条件	解答出来な							
	2	の上再提出すること。また、理解できた。 2 【演習問題】 三角形と四角形 直角三角形の合同条件 かった問題は質問事項を記入して担当												
	3	3 【演習問題】 三角形と四角形 平行四辺形の性質と条件												
授業計画	4	4 【演習問題】 三角形と四角形 特別な平行四辺形												
	5	5 【演習問題】 三角形と四角形 面積が等しい三角形												
	6	6 【演習問題】三角形と四角形 空間図形の中の三角形と四角形												
	7	7 【演習問題】 三角形と四角形 証明問題まとめ												
	8 【演習問題】 三角形と四角形 総合復習・まとめ													
	8	【澳百口	100	二円	96四月形	祁百1	夏百・まこの							
	(1)	(1)受講態度·意欲 (2)課題の提出 以上の内容を総合的に判断し R評価(可、不可)で判断する。												
					言語	情報	知的技能	運動技能	態度•意欲	その他	į	評価割合		
		受講	態度	・意欲)	0					30%		
評価方法		課是	夏の	提出)	0					70%		
履修上の注意	出	出席が授	業回	回数の2/	´3に満たなし	ハ場合	は、単位を認	ぬない。	•	•	1			

科目名	Е	BIM 専攻ⅡB(選択)														
科目名(英)	В	uild	ing	Inf	form	ation Mo	deling I	В								
単位数			1単	i位		時	間数	158	寺間	担当者		道脇 力				
実施年度		2	2023	年度	ŧ	実施	布時期	後	:期	担当者実務経験	建築設	計会社にて設計 を担当				
対象学科・学年	建	築.	C学	科	2年	Ē										
授業概要		・課題の制作を通じた実践的な表現技術の習得。 ・各用途の建築計画的理解と表現。														
授業形態	講	義:			演	習: 〇	実習:	実	技:	※ 主たる形態:○ その他:△						
	言語 情報	知的 技能	運動 技能	態度 意欲	その他				目標	<u> </u>						
		0														
学習目標			0					より効率よく		0						
(到達目標)		0	0			BIMを活用	Mを活用したプレゼンテーションができる。									
_ 1																
テキスト・教材 参考図書	木	木造住宅入力ガイド(グラフィソフト提供トレーニングドキュメント)														
	回数					授業	項目·内	容		授	業外学修	指示				
	1	課題	: 複	合 E	゛ル「	制作②」			情報、資料収集を	行うこと						
	2	課題	: 複	合L	゛ル「	制作③」		情報、資料収集を	行うこと							
	3	課題	中間	間報	告(多	光表)		発表資料の確認を	行うこと							
授業計画	4	課題	1:複	合L	゛ル「	制作④」			タイムスケジュールの確認を行うこと							
	5	課題	1:複	合 E	゛ル「	制作⑤」			タイムスケジュールの確認を行うこと							
	6	課題	1:複	合L	゛ル「	制作⑥」				タイムスケジュールの確認を行うこと						
						制作⑦」				必要提出資料の確認を行うこと						
	8	課題	ヹ゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚	/ゼ:	ンテ-	ーション(発	<u></u>	必要提出資料の確認を行うこと								
	(1)	8 課題プレゼンテーション(発表)「プレゼン資料提出」														
評価方法						1	語情報	知的技能	運動技能	態度•意欲	その他	評価割合				
			発表	表∙化	乍品			0				50%				
			課	題提	出			0				50%				
履修上の注意	出	席点	が授	業回	⋑数σ)2/3に満た	:ない場合	は、単位を認	ぬない。							